

# 売上先取引条件更新票 項目説明

A005-1

09/07/01

使用目的 新規取引先の登録及び、登録済取引先の内容の変更を行う時、コンピュータへの入力原始票として使用する。新規登録の売上先・仕入先の場合は、必ず取引先条件更新票も起票する。

1 登録 ・ 2 変更

売上先取引条件更新票

- 2007.08.20 版 -  
3年保管

(申請日 年 月 日)

営業管轄					
営業担当者					
売上先コード					
売上先名					

販売品名					
------	--	--	--	--	--

取引	
区分	

締 日	毎月	日
-----	----	---

↓サイトは締日起算の日数を記入※

入金方法	入金サイト	回収方法	相殺可能
0: 現金	手形受取日	区分	区分
1: 手形	0: 当月 1: 翌月 2: 翌々月 日	0: 送金 1: 集金	0: 可能 1: 不能

適用金額 及び 入金方法			
--------------------	--	--	--

備考			
----	--	--	--

(変更項目の実施日・ 年 月 日)

(変更項目 )

(変更前 )

納品書 及び 請求書	納品書 様 式	請求書 様 式	直送先別 納品書	直送先別 請求書
	0: 当社 1: 指定	0: 当社 1: 指定	0: 無 1: 有	0: 無 1: 有

本体 計算 区分	0: 切捨 1: 四捨五入 2: 切上	(数量×単価の計算時に小数がある場合の丸め方法、既定値=切捨)		
----------------	---------------------------	---------------------------------	--	--

消費税	計算基準	計算方法	納品書出力区分	
	0: 合計金額 1: 明細金額	0: 切捨 1: 四捨五入 2: 切上	0: 本体のみ 1: 納品書 1 件毎 2: " (合計も)	

入力印

所屬長

担当印

起票印

起票者

※ 手形受取日を起算にサイトを決定した取引先であっても、締日起算のサイトに直して記入のこと  
例) 月末日締め翌月20日受取で手形サイトが受取日起算100日の場合、サイトは締日起算の120日と記入

1. 印は記入必須、 印は必要に応じて記入すること。
2. 選択項目で、いずれかに 印がない場合は“0”の方でコンピュ - タ処理される。
3. 登録の場合は登録に、変更の場合は変更 に 印をつけて、変更項目を必ず記入すること。

No	項目名	登録	変更	記入要領
	入力種別			起票した更新票の種類が、新規登録・変更のいずれに当たるのか、該当項目を で囲む。
	申請日			起票者が起票を行った年月日を西暦で記入する。
	営業管轄			取引先(売上先)の管理がいずれの営業管轄に当たるのか、左に営業管轄コード、右に営業管轄名を記入する。
	営業担当者			営業担当者のコード、氏名を記入する。
	売上先コード 売上先名			新規登録の取引先(売上先)については、アイティエスで記入する。変更・削除の場合は、起票者が現行コードを記入する。
	販売品名			売上先に販売する主たる販売品名を記入する。 (登録の場合のみ)
	取引区分			売上先取引条件書の該当する区分を記入する。
	締 日			請求締日を記入する。
	入金方法			該当項目を で囲む。
	手形受取日			9 で“1:手形”を選んだ場合に、手形受取日を記入する。
	入金サイト 手形サイト			締日起算のサイト(日数)を記入する。
	回収方法区分			該当項目を で囲む。
	相殺可能区分			該当項目を で囲む。



No	項目名	登録	変更		記 入 要 領
②⑥	入力印				コンピュータ入力者が押印する。
②⑦	所属長				所属長が確認印を押す。
②⑧	担当印				担当者が確認印を押す。
②⑨	起票印				起票者が押印する。
③⑩	起票者				起票者の社員コードを記入する。